



くすり箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 阿部 正樹

編集担当者 河井利恵子

大手 直樹

第73回目のテーマは、「常用薬の入院前確認」についてです。

常用薬とは患者さんが入院される時にお持ちになる普段から服用（使用）しているお薬のことで、入院時に持参される薬のため、持参薬ともいわれます。

これには、現在、内服している飲み薬や使用している目薬、貼り薬、塗り薬、注射薬など全てのお薬が含まれ、一般用医薬品やサプリメント・健康食品なども対象となります。



入院前に常用薬を確認するのはなぜですか？

「常用薬確認」を行うことは以下のようなメリットがあります。

- あらかじめ常用薬を確認することで、休薬が必要な薬を止めることができ、予定通りに手術や検査などを行うことができます。
- 一般的に休薬が必要な薬といわれる薬でも、患者さん一人ひとり状態は異なりますので、その都度担当医師の指示を確認します。
- 一般用医薬品やサプリメント・健康食品なども色々な成分のものがあるため、入院の1週間くらい前からお休みしていただいています。お休みが難しい場合には、担当医師と相談させていただきます。

確認に必要なものは…



お薬手帳やお薬手帳アプリは、処方されたお薬の名前や飲む量、回数などを記録するために非常に便利なツールで、常用薬の確認や服薬管理において欠かすことのできない重要なものです。同様に、薬剤情報提供書（薬の写真や説明が記載された書類）や薬袋などでも、薬の情報を確認することは可能です。

もし、お薬手帳やアプリに最新の情報が反映されていない場合や、服薬を継続しているにもかかわらず、しばらく処方されていない薬が残っている場合などは、薬剤師が患者さんとお話をさせていただき、情報を確実なものにします。お薬手帳やアプリは、普段から医師や薬剤師に見せることで、同じ作用を持つ薬が重複して処方されるのを防いだり、良くない飲み合わせを避けたり、治療方針を検討する際にも役立ちます。

一般用医薬品やサプリメント、健康食品なども、ご自身で記載しておくことをお勧めします。

※ 休薬が必要な薬を飲んでいた場合には、予定した手術や検査などができなくなる場合がありますので、お薬手帳に最新の情報を貼るようにしましょう。

当院における常用薬確認の流れ

＜入院前＞ ◎入院前に確認が必要な患者さんが対象です。

- 診察時に担当医師も常用薬を確認し、休薬のする必要がある薬があるか確認します。
- 薬剤部の窓口で、薬剤師と面談して薬の確認をします。（電子カルテに記載し残します）
- お薬手帳などお持ちでない場合には、後日確認できるものをお持ちいただく場合もあります。

＜入院後＞ ◎すべての患者さんが対象です。

● 常用薬をお預かりします。

- 入院時に常用薬とお薬手帳や薬の説明書をお預かりします。
- 普段使っている一般用医薬品やサプリメント・健康食品などがあれば、確認のために一旦お預かりさせていただいています。

● 常用薬の内容を調べます。

- 入院前に休薬が必要な薬があった患者さんには、予定通り休薬できているか確認をします。
- 預かった常用薬の薬剤名、用法、用量を調べます。
- 市販薬やサプリメントの品名についても使用状況等の情報をまとめています。
- 当院で扱っていないお薬がある場合は、代わりとなるお薬を調べています。
- お預かりした常用薬の数量も調べ、普段からきちんと服用できているかも確認しています。

● 担当医師が常用薬の継続を決めます。

- 医師は、薬剤師、看護師が確認した情報や患者さんとの面談で得られた情報をもとにして、持参薬を継続するか判断します。

検査または手術時に注意する薬剤

当院で検査又は手術前に休薬を検討している主なお薬です。手術の種類や患者さんの状態などから休薬するかどうかを判断していますので、必ず医師の指示に従ってください。

また、入院時に再度、薬剤師がお薬の確認をしていますので、入院するまでの間にお薬の変更があった場合には、その旨を伝えるようお願いいたします。

《出血に注意が必要な主な薬剤》（ ）は後発品を表しています。

- 抗血小板薬【バイアスピリン[®]、バファリン[®]、プラビックス[®]（クロピドグレル）、パナルジン[®]（チクロピジン）エフィエント[®]、タケルダ[®]、キャプビルン[®]、プレタール[®]（シロスタゾール）など】
- 抗凝固薬【ワーファリン[®]、イグザレルト[®]、エリキュース[®]、リクシアナ[®]、プラザキサ[®]など】
- 血管拡張薬、冠血管拡張薬【オパルモン[®]（リマプロストアルファデクス）、コメリアンコーワ[®]（ジラゼブ）、ペルサンチン[®]（ジピリダモール）、ロコルナル[®]（トラピジル）】
- 脳循環・代謝改善剤薬【ケタス[®]、セロクラール[®]（イフェンプロシル）など】

《ヨード造影剤使用時に注意が必要な薬剤》

- ビグアナイド系血糖降下薬【メトグルコ[®]、メトホルミン[®]、グリコラン[®]、ジベトス[®]、メトアナ[®]、イニシンク[®]、エクメット[®]、メタクト[®]】



ご不明な点は薬剤部または外来にお声掛けください。

次回は、2024年12月発行予定です。